

ディスカッションをしてみよう

名前 _____

複数人で集まって、一つのテーマに沿って討論してみましょう。

テーマ もしアレルギーの人がアレルゲンとの接触を望んだら

参加者の名前と発言内容をまとめる

名前	意見、発案などのメモ
T	猫アレルギーの子が家に遊びに来て、私の飼っている猫に触りたいと望んでいる時、私はどうすればよいのか。その子はアレルギー症状が出たものの、猫と触れ合えて楽しかったと言っている。
I	その子本人やその子の親御さんがリスクを十分に考慮し承知しているのならば触らせてもよい。
F	相手の健康を保障することはできないので、止めるべきである。重篤な症状が出たら誰が責任を取るのか
M	許可には重篤な症状が出ないことが分かっていることが前提となりそう。もし触らせるのなら、いざという時にも対処できる人が周りにいることが求められる。
N	本人の意思によるものなので、一概に禁止するのはどうかと思う。本人の意思は尊重すべきである。

班で出した意見や結論を書く

発症しても症状が軽い、また、周りにアレルギー症状の知識を持っている人がいることを前提として本人の意思を尊重してもよい。

討論を経て得た感想を書く

アレルギーというのは、どのような場面においても常に第一優先に考慮されるべきものとは限らないことに気づいた。アレルギー配慮というのは、あくまでも相手の生活水準を上げるための一つの手段にしかすぎず、アレルギー配慮よりも相手のためになることがある場合もあるのだ。ただし今回話し合った例などでは、相手の健康の保証と楽しみの保証を両立させることは難しいのだと感じた。

この解答例はこのページ中の会話の一部を参考に作っています。